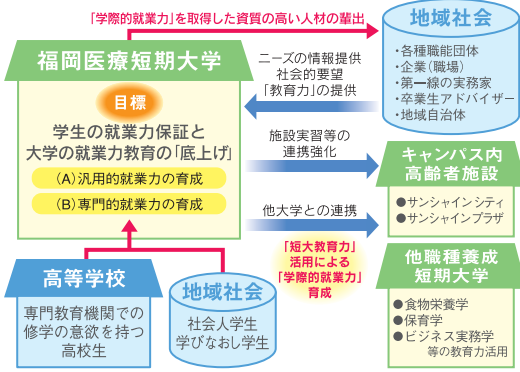


本学短期大学の就業力育成への取り組みチャート



「学際的就業力」を取得した質の高い人材の輩出
 九州の医療・福祉系短大唯一！
 平成22年度、大学生の就業力育成支援事業に採択される

福岡医療短期大学が文部科学省に申請した「短期大学教育力活用による学際的就業力育成」が、平成22年度、大学生の就業力育成支援事業に採択されました。全国的に就職率が低迷する中、これまでの実践的「介護実習」や「口腔ケア教育」等の実績に加え、さらに、大学生にとって重要である卒業後に社会的に活躍し職業的に自立できるための多面的な就業力育成の取り組みが評価されました。全国に短期大学が407校、平成21年度（ある中で、わずか19校の選定で、医療・福祉系短期大学では九州で唯一の選定でした。これからの医療・福祉系教育機関のリーディングカレッジ(Leading college)として、平成22年度下半期、平成26年度の5年間にわたり約1億円規模での教育事業に取り組んでいきます。

短期大学
 九州の医療・福祉系短大唯一！
 平成22年度、大学生の就業力育成支援事業に採択される



今年度「キャリアパス講演会」のひとコマ。

- ① 就業情報
- ② 学生が地域の歯科医や病院施設を訪問し報告会で体験情報共有します。
- ③ 様々なキャリアをもつ歯科医師に

文部科学省の平成21年度学生支援推進プログラム「臨地体験と就業情報通信システム構築による歯学生の就業支援強化」にシステムの外部アクセス機能・キャリアアカウンセラーが加わり、今年2年目となるこの取り組みは、求人・就業先情報を外部から入力・閲覧できる等内容を充実するとともに、キャリアアカウンセラーが卒業生の勤務先を訪問し、勤務から開業に至る実態を把握し就業相談や個々の能力や適性に合わせたきめ細かな就業支援を行います。

平成21年からの取り組みでは、歯科医師としての将来像を早くから描き、就業への意識を高め、生涯を通じて意欲的に研鑽を積む姿勢や職業倫理意識を向上させることに加え、就業先の「TとZ」と個々の学生が描く将来像や能力との適合を図り、生涯研修の第一歩として最適な臨床研修施設の選定を学生が主体的に行える能力を身につけさせ就業支援を強化しています。主な取り組みは、①就業情報通信システムにより求人・就業情報

の閲覧を容易にします。②学生が地域の歯科医や病院施設を訪問し報告会で体験情報を共有します。③様々なキャリアをもつ歯科医師に



学生支援カウンセリング風景。

キャリアパス講演会
 さらなる充実を図っています

歯学生の就業支援強化に向けて

本年度の「キャリアパス講演会」一覧

講演日	講師名	出身	診療施設名	講演タイトル
5/27	白井 義英	5期生	白井歯科医院 院長 (大塚府)	臨床医を中心とした日常の中で研修医指導と自己研究継続の意義について
	馬場 篤子	12期生	福岡歯科大学 育成小児歯科学分野 講師	講師までの道しるべ
6/3	山本 未陶	23期生	福岡歯科大学 口腔健康科学分野 助教	公衆歯科衛生活動について
	御手洗 聖史	12期生	対馬市立峰歯科診療所 所長(長崎県)	夢をかなえる歯科医師という仕事 パートII
6/10	平塚 正雄	9期生	福岡リハビリテーション病院 歯科部長	リハビリテーション医療における歯科の役割とその重要性
	泉 喜和子	22期生	福岡歯科大学 口腔外科学分野 講師	私が口腔外科を選んだ理由
9/16	本岡 路都子	29期生	もとおか歯科医院 院長(長崎県)	離島の歯科医療
10/14	二木 寿子	3期生	九州大学病院 特殊歯科総合診療部 全身管理歯科 講師	急性期病棟の歯科スタッフとして
	土屋 嘉都彦	24期生	土屋デンタルクリニック(大分県)	アメリカの歯科教育を受けて
11/11	吉良 直子	九州歯科大学卒	熊本中央保健福祉センター 所長補佐	住民に寄り添う地域口腔保健活動について ~赤ちゃんからお年寄りまで~
	石田 万喜子	13期生	いしだまきこ小児歯科 院長(久留米市)	小児歯科医としての地域とのかかわり
12/2	橋本 敬昭	1期生	はしもと小児歯科医院 院長(北九州市)	歯科医師としての生甲斐
	松尾 憲篤	3期生	松尾歯科医院 院長(佐賀県唐津市)	歯科医師会活動と自院での取りくみ

よる講演会を定期的に実施します。これらの取り組みのうち、③については、地域で活躍されている卒業生・歯科医師の方をお招きし、各先生のご活躍に至る様々な状況についてお話しただく「キャリアパス講演会」を開催していただきます。本年度は以下の先生方に講演いただきました。

シンポジウム

地下鉄七隈線沿線3大学 合同シンポジウム開催

平成23年1月22日、福岡大学病院・福大メディカルホールにおいて第6回地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウムが開催されました。このシンポジウムは、地下鉄七隈線沿線に所在する中村学園大学、福岡大学、本学の3大学の共催で、市民の健康づくりを目指して実施しており、今年度で第6回目の開催を迎えました。

今年は「メタボ・糖尿病の克服に向けて」～口腔・栄養・代謝から見た管理・治療戦略～というメインテーマのもと、各大学の講師からそれぞれの専門分野における講演がありました。当日は、地域の皆様や各大学の関係者を中心とした多くの来場者で会場は活気にあふれ、市民の健康に対する意識の高さが伺えました。

レポート 第2回 ふくおか教育フォーラム

学内外から109名の参加。食と健康/安全について知る

10月8日、地下鉄七隈線沿線3大学連絡協議会の活動の一環として「第2回 ふくおか教育フォーラム」が開催されました。

当日は、学内外から109名の参加があり、内閣府食品安全委員会委員で東京大学名誉教授の長尾拓氏による特別講演をはじめとする講演が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

「第2回 ふくおか教育フォーラム」開催概要

- ・開会挨拶 福岡歯科大学 学長 北村 憲司
- ・基調講演「食と健康」 中村学園大学 学長 藤本 淳
- ・特別講演「食品摂取の安全確保への取り組み」 内閣府食品安全委員会委員 東京大学名誉教授 長尾 拓
- ・閉会挨拶 福岡大学 副学長 瓦林 達比古